

# 学校自慢

「学校大好き」楽しく学ぶ児童の育成を目指して  
すべての子供たちを  
すべての教職員が見守る学校

布施学校組合立布施小学校長 あいば 相場 としひで 俊秀



## 1 はじめに

まず最初に本校にある宝物を紹介する。本校には40個の宝石の原石が存在している。この原石を全教職員が毎日せっせと磨いている。私は、本校にあるこの原石とそれを懸命に磨く教職員が何よりの自慢である。



## 2 連綿と続く地域からの学び

本校は、今年で創立148年目を迎え、現在は御宿町といすみ市に学区をもつ県内唯一の「組合立学校」である。地理的には夷隅地方の南東に位置し、その広さは、東西5km、南北7km、総面積10.5km<sup>2</sup>を有している。

本校の体験学習は、そのほとんどが地域との関わりの中で行われている。田植えや稲刈り、お飾り作り、フラワーアレンジメントなど、技術が必要な内容を体験しながら学ぶ。かかし作りや、採れた米を使った調理実習とお礼の会などを通し地域の方と交流する中で、技術面だけでなく水稻栽培に携わる農家の方たちの米を大切にする考え方、取り組み方も学んでいる。

さらに、上級生が下級生の面倒を見るという、不易ともいべき学校本来の機能を果た

している。地域から子供たちへ、子供たち（上級生）から子供たち（下級生）へという布施地区ならではの地域力を余すところなく活用できるようなシステムができあがっている。このような地域との関わりから、自分たちが布施の子供として地域から大切にされていることに気付く学習が遠い昔から連綿と続いている。

## 3 地域の中で行う学習成果の発表

本校には、収穫祭と学習発表会を組み合わせ「布施まつり」という行事がある。地域から学んだ学習成果を発表する場として、地域の方たちを招いて盛大に行う。昔の遊びを教わったり、自分たちで育てた野菜を振る舞ったりもする。



## 4 おわりに

本校では、これらの活動を通して、布施の未来を担う子供たちに、布施の伝統と文化を尊重し、布施を愛する心と、布施には自慢できるものがたくさんあるという誇りをもてる心を育てている。

まもなく3月、今年もまた、磨かれて輝きを増した宝石たちが13色の光を放ち、本校から巣立っていく。

